



ノロウイルス等による感染性胃腸炎(疑い)の集団発生について

健康増進課感染症・疾病対策グループ

電話(0776)20-0362

(担当)

公立学校関係 教育庁スポーツ保健課

電話(0776)20-0598

保育園関係 子ども家庭課保育支援グループ

電話(0776)20-0342

福井市内の複数の学校等においてノロウイルス等が原因と疑われる胃腸炎症状により、欠席者が多数報告されていますので、お知らせするとともに、県民の皆様への注意喚起をお願いします。

1 発生状況

	施設の別	発生施設	所在地	罹患状況			備考	
				在籍者数	有症者数	うち欠席者数		
1	市立中学校	進明中学校	福井市	全校	499	44	24	罹患状況は5月25日現在 1年1組および1年2組を5月26日学級閉鎖
2	市立小学校	松本小学校	福井市	全校	603	35	22	罹患状況は5月26日現在 2年2組を5月27日学級閉鎖
3	民間保育園	藤島保育園	福井市	全園	131	24	21	罹患状況は5月26日現在

2 主症状 嘔吐・腹痛・下痢(入院患者はいない)

3 感染源、感染経路 調査中(有症者の検便を実施し、県衛生環境研究センターで検査予定)
状況から、ノロウイルス等による感染性胃腸炎が疑われる。

4 予防対策等

(1) 最も重要な予防方法は手洗い

帰宅時、食事前、トイレの後には、必ず流水・石けんによる手洗いを行うようにしてください。調理をする方は、調理の前後も十分な手洗いをしてください。

(2) 調理の際の注意点

・カキなどの二枚貝を調理する際は、他の食品や調理器具が汚染されないよう注意しましょう。

・下痢などの症状がある人は、食品を扱わないでください。ノロウイルスによる胃腸炎の場合、症状がなくなっても1週間程度(長い場合は1か月に渡って)便中にウイルスが排出されるといわれていますので、症状がなくなっても注意してください。

・加熱はもっとも効果的な殺菌方法です。ノロウイルスは85℃、1分以上の加熱が必要です。二枚貝などは、中心部まで十分加熱しましょう。

(3) おう吐物・下痢便の処理の注意点

・ノロウイルス感染症の場合、そのおう吐物や下痢便には、ノロウイルスが大量に含まれています。そしてわずかな量のウイルスが体の中に入っただけで、容易に感染してしまいます。

・おう吐物や下痢便の処理をする前に、まず処理にあたる人以外の方を遠ざけ、換気をしてください。

・マスク・手袋(しみこまない材質のビニールやゴム製の手袋)をしっかりと着用し、ペーパータオル等で吐物・下痢便をしっかりとふき取ってください。汚染された場所は、次亜塩素酸系消毒剤(濃度は0.1%以上、家庭用漂白剤の場合は約50倍程度に薄めて)で消毒してください。

・ふき取った後のペーパータオル等は、ビニール袋等にいれ(できれば次亜塩素酸系消毒剤をしみこませ)、しっかりと封をして廃棄してください。

・ドアノブなど直接手で触れる機会がある場所は次亜塩素酸系消毒剤(濃度は0.02%以上、家庭用漂白剤の場合は約200倍程度に薄めて)を使用して消毒してください。

(4) 感染源とならないために

症状を持ったまま学校、保育所等に登校(登園)させることによって、その子どもが感染源となって周囲の子ども達に感染が広がっていき、それがまた各家庭に広がり、地域内で広がっていく事になることをご理解ください。